

配車センター
〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3059-6 TEL079-233-3131 FAX079-233-3133

工場

木くずリサイクルセンター
〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島相生梅2104

エコレンガプラント
〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3059-24

大津工場
〒671-1132 兵庫県姫路市大津区勘兵衛町2丁目89-1

メンテナンスヤード
〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3059-23

中島資材センター
〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3059-6

真砂工場
〒671-1136 兵庫県姫路市大津区恵美酒町2丁目104

■ グループ関連企業一覧

株式会社環境保全サービス
〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3067-17

播磨企画株式会社
〒676-0807 兵庫県高砂市米田町島322-17

株式会社共生
〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3059-23

株式会社西部興産
〒731-1523 広島県山県郡北広島町南方13456-8

株式会社河金組
〒689-2213 鳥取県東伯郡北栄町上種オバガ谷85-8

有限会社スギサワテック
〒708-0842 岡山県津山市河辺字岡田98-17

有限会社エコ・マテリアル
〒672-8079 兵庫県姫路市飾磨区今在家1113-5



適用範囲:本社・本社工場/中島工場/木くずリサイクルセンター

2023年3月発行



このパンフレットは、環境に優しい古紙パルプ配合率70%以上の再生紙を使用しています。



企画・編集

株式会社姫路環境開発
総務部 CSRレポート委員会

発行年月

2023年3月

お問い合わせ先

株式会社姫路環境開発
総務部 CSRLレポート委員会
〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3067-17
Tel:079-233-3353 / Fax:079-233-6262
<https://www.himejikankyo.co.jp/>

CSRレポート 向上のための アンケート!



約3分でできる
超簡単なアンケートに答えて
ボクのオリジナルQUOカードを
ゲットしてね!

アンケートは
こちら▶



Corporate Social Responsibility Report 2022

CSR レポート 2022

Earth is us.



株式会社 姫路環境開発
HIMEKAN GROUP

時を超えて、
想いをつなぐ。



みんなの笑顔 未来へつなぐスマイリーくん

いつまでも美しい地球であることを願う人たちの

想いによって生まれたスマイリーくん。

スマイリーくんは、美しい地球環境がいつまでも続くよう、
どんなときでも地球のことを考えています。



いつも穏やかで心優しいスマイリーくんは、
美しい地球環境がいつまでも続くよう、どん
なときでも地球のことを考えています。

「地球のこと」を思う余り、無我夢中に突っ
走りすぎて、周りが見えなくなってしまうこと
もしばしば。

まだまだ完璧ではない、でも想いは誰よりも
強い。そんな真っ直ぐなスマイリーくんだから
こそ、周りのみんなが助けてくれる。協力しあ
える輪が広がる。美しい環境づくりを目指
して、みんなで笑顔ある未来を作ろう！

2021年度のCSRレポートのページのどこかにスマイリーくん
が隠れていたよ。探してみてね！



アース

スマイリーくんにとって必要不可欠な
地球型アイテム。スマイリーくん
にずっと浮遊して付いてくる。

地球の危機をすぐに知らせてくれる
だけでなく、現在、過去、未来の地球
の姿を映し出したり、ここぞという
ときには不思議なパワーを発揮する。



HIMEJIKANKYO CSR レポート 2022

01 みんなの笑顔
未来へつなぐスマイリーくん

02 目次

03 代表メッセージ

- ・2022年度を振り返って
- ・自分らしく活躍できる企業へ
- ・時代のニーズに応えよう

04 持続的成長に向けて

- ・より良い会社を目指しています
- ・「いい会社」になるための取り組み
- ・2023年の目標

05 経営理念
環境方針
ISO

06 HIMEKAN HEROES

- ・創立35周年記念ムービー作成
- ・HIMEKAN三方よし！

07 沿革・組織図

08 グループ会社紹介

09 事業紹介

- 解体事業
- 廃棄物収集運搬処理事業
- リサイクル事業
- エコレンガ製造業

13 安全衛生活動

- ・社内あいさつは「ご安全に」

BCP

- ・2022年実績

14 DX推進

- ・2022年の実施内容
- ・kintone

19 CSR活動

- 花とレンガのエコフェスタ
- ボトルキャップ回収活動
- 環境学習

- ・姫路商業高等学校様との
フィールドスタディ
- ・姫路市立琴丘高等学校様
との探究授業
- ・賢明女子学院様作成のごみの
オブジェが優秀賞
- ・ひめかんエコファームでおいも掘り

フードドライブ活動

広域清掃

- スポーツ団体と地域応援活動
- スマイルカード

22 支援・受賞実績

- ・姫路市環境美化事業 寄附
- ・クラウドファンディングプロジェクト支援
- ・STOP感染症大賞～最優秀賞～

15 福利厚生

- ・健康経営優良法人認定に
向けた取り組み
- ・3大疾病サポート保険へ加入
- ・産休・育休制度

16 社員紹介
社内ツール

- ・気づきの発信機会『一言コメント』

17 社員交流
同好会

- ・ダンス ・ゴルフ

18 社員教育

- ・人材育成研修
- ・資格取得支援について
- ・営業マーケティングミーティング



代表メッセージ

● 2022年度を振り返って

2022年「続・安全経営宣言」をしました。

① 安全を前提とした現場力の強化として、整理・整頓・清掃を徹底し、現場の見える化で不安全箇所や不安全行動を無くすことに努めました。現在無災害50万時間の継続中です。

② デジタル化へのチャレンジとして、昨年から着手しているHIMEKANクラウドシステムは、発生した問題を解決しながら現在実装に向け準備中です。その間、連携させるアプリの調査も実施し、早期に本格的な実用化を目指します。また2023年は、卯（うさぎ）年ということもあり、「安全・飛躍・向上」の3つのテーマにした目標に挑んでいきたいと思っています。

株式会社姫路環境開発
代表取締役

梅崎 晃平



Message

● 自分らしく活躍できる企業へ

創業スピリッツ、いま仕事があることに感謝し、姫路環境開発を未来へ繋ぎます。姫路環境開発で働く喜びを感じ、どんなことでも自分らしく会社と向き合ってくればそれでいいと思います。



● 時代のニーズに応えよう

姫路環境開発は必要とされているから存在しています。その時代に対応できたからこそ今があります。この仕事に誇りを持って、「いい会社」を共に築きましょう。



持続的成長に向けて

● より良い会社を目指しています

HIMEKANグループは、ひたむきに「いい会社」を目指すために、大切にしている「社訓と理念」を判断基準とし、新しい取り組みにチャレンジする組織を作ります。今ある仕事は、「断らない」ことで築き上げてきたHIMEKANの「モットー」です。長く続く会社には強みがあり、その強みを生かす社員がいます。

HIMEKANグループは、どんな時代になろうと普遍的価値観を共有し、社会に必要とされる「いい会社」を目指します。

● 「いい会社」になるための取り組み

社員ひとりひとりに決断力を身につけていただくことで「いい会社」の方向性が決まります。社員の成長は会社の成長、新しい発想で社員教育を充実させ、環境を担う企業として姫路モデルで地域から発信していきます。



Goal

● 2023年の目標

2023年の干支である卯（うさぎ）年には、「安全・飛躍・向上」の意味があります。姫路環境開発も皆さまで同じく、勢いよく成長し、飛躍する年にしていくため、3つのテーマを決めました。

安全



安全と安心の追求
ひとりひとりの幸福の追求と捉えて、無災害の継続。

飛躍



みんなでチャレンジ
会社が進む新しいことに、ひとりひとりが取り組む姿勢を養う。

向上



魅力発信
姫路環境開発のいい取り組みや現場の生の声をお届けする。

以上の3つのテーマにチャレンジし、飛躍する年にしていきます。

私たちは持続可能な地球環境、社会の実現に貢献します！



経営理念

安心・安全・適正な総合リサイクルセンターを目指し、社員全員が参加し、自らが学習し、価値観の共有化ができる組織。限りない資源を生み出す企業として、時代に合った顧客のニーズに対応するためのシステム。人材育成が企業を育て、社員が満足して仕事のできるシステム。廃棄物を通じて、社会に必要とされる企業を作る。



環境方針

経営トップを筆頭に全従業員が一丸となって、「地球環境へ限りない挑戦」をスローガンに、地球環境を守る活動を展開しております。地域社会に還元する会社として、従来の廃棄物処理だけでなく、リサイクル率の向上、電力・燃料使用削減・CO₂排出低減等の環境負荷軽減活動を行ううえで、大事な取り組みの一つとなっております。

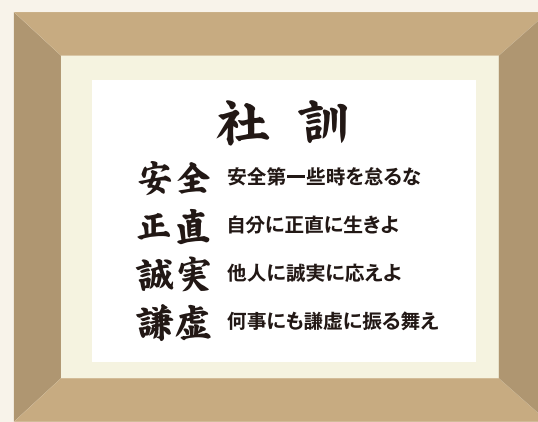


ISO

ISO14001
認定取得



姫路環境開発は、ISO14001（環境マネジメントシステム）を取得しています。ISO14001を取得した企業は、地球環境へ配慮した企業活動を行っていることが国際的に認められることになります。よって、ISO14001を取得していることは、環境に配慮した取り組みを行っていることを意味し、お客様の信頼にも繋がります。今後も環境負荷軽減へ焦点を置き、ISO関係者と役職者をはじめ、社員一丸となって環境保全に取り組む所存です。



HIMEKAN HEROES



● 創立35周年記念ムービー作成

当社は今年35年の節目となりました。コロナ禍の影響で、自粛が続いた約2年、社員たちの交流やコミュニケーションが徐々に不足していることは明らかでした。そのような状況下で社員がモチベーションを上げるどころか、キープするのも正直大変だと思い、結果一つの答えが映画を制作することでした。



ストーリーは工場の現場を主役にした内容です。題名はHIMEKAN・HEROS。発表は社員総会、プロジェクトは極秘で進め、広報メンバーがサポート役で、制作会社と共に撮影準備を進めていきました。出演する社員は初めての体験に少し緊張している様子でしたが、いざ撮影が始まると、とても楽しそうでした。また、撮影が終了した社員の表情が満足そうで、とても嬉しそうな表情が印象的でした。



完成した映画が社員総会で上映され、鑑賞している社員の表情は、時折笑い声もあり、真剣な表情もありました。上映が終わり、社員に感想を聞いたとき、「感動した!」という声が聞こえ、とても嬉しかったです。やって良かったという瞬間でした。この映画がきっかけとなり、社員の中で何か会社への熱い思いが芽生えてくれればうれしいですし、コロナ禍でも挑戦できる会社であり続けたいと思います。

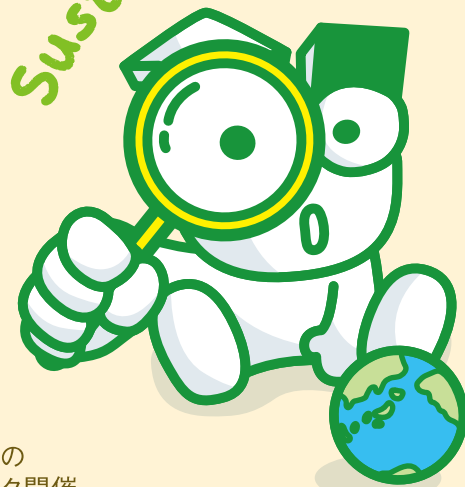
● HIMEKAN三方ヨシ!

今年当社は働き方改革の取り組みとして、「健康経営宣言」をしました。HIMEKAN三方ヨシ! 社員ヨシ! お客様ヨシ! 地域ヨシ! その中で社員ヨシ!の実現に一步近づけました。社員満足を追求することで、お客様満足や地域満足以に繋がる。いい社員がいいサービスを提供することで好循環が生まれる。さらに地域に貢献が出来る。HIMEKANグループは更なるHIMEKAN三方ヨシの満足以に挑戦します。



私たちは限りある資源の有効利用を目指します

Sustainable!



沿革

1988
会社設立

1988
産業廃棄物収集運搬業
(兵庫県・姫路市・神戸市)
許可取得

1994
産業廃棄物収集運搬業
(積替保管) 許可取得
産業廃棄物処分業
(中間処理) 許可取得

1999

有限会社から
株式会社に組織を変更

2003

資本金3,000万に増資
第二工場を
木くずリサイクルセンター
として稼働

2004

新社屋・本社工場竣工、
稼働を開始

2005

広域清掃活動開始

2006

エコレンガ製造
事業開始

2007

花とレンガの
エコフェスタ開催

2008

まちかど100M
クリーンアクション表彰

2009
河金組M&A
ボトルキャップ回収
活動開始

ひめかんエコファームにて
芋堀りを実施

2011

播磨企画M&A

2016

西部興産M&A
環境大臣賞受賞
姫路城
季節の花の寄せ植え
鉢を寄贈開始

2017

スギサワテック
M&A

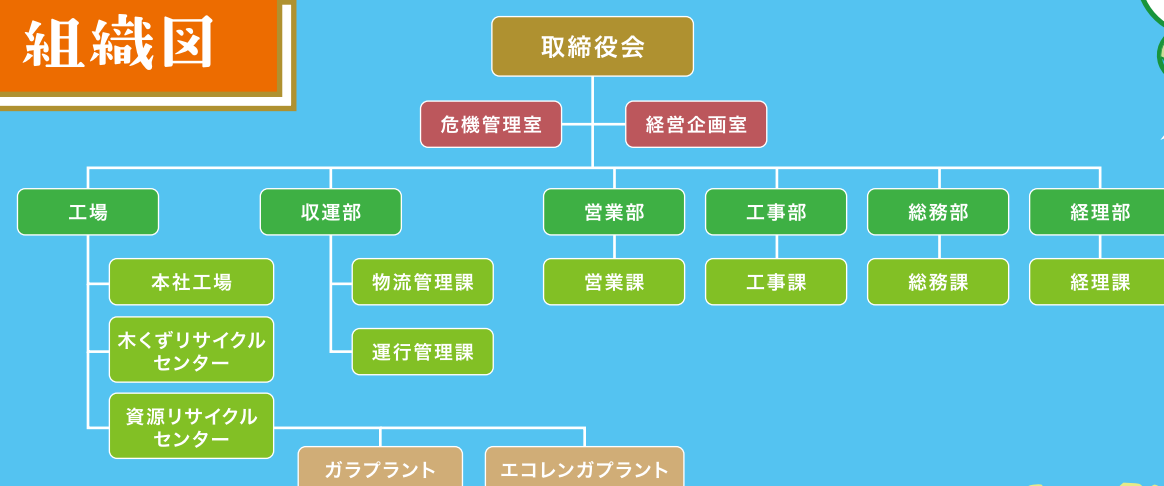
1988-1994

1995-2006

2007-2015

2016-2017

組織図



Organization

History

2022

創立35周年記念ムービー作成
美化啓発事業費寄附金寄付
りそなグループ「SDGs推進私募債」寄付
第36期社員総会開催
入社式開催

ジャパン・レジリエンス・アワード受賞
健康経営宣言
みずほ銀行私募債寄付
紺綬褒章(褒状) 受章
Himeji SDGs EXPO2022出展



2018

エコ・マテリアルM&A
ヴィクトリーナ姫路
エリアスポンサー開始

2019

フードドライブ
活動開始

2021

グループ会社による
ホールディングス化
レジリエンス認証取得
真砂工場稼働

2018-2021

2022

Group

グループ会社紹介

最終処分場
株式会社河金組
〒689-2213
鳥取県東伯郡北栄町上種字オバガ谷85-8

中間処分場
有限会社スギサワテック
〒708-0842
岡山県津山市河辺字岡田98-17

最終処分場
株式会社西部興産
〒731-1523
広島県山県郡北広島町南方13456-8

株式会社姫路環境開発
〒672-8035
兵庫県姫路市飾磨区中島
字宝来3067-17

産業廃棄物収集運搬業
播磨企画株式会社
〒676-0807
兵庫県高砂市米田町島322-17

一般廃棄物収集運搬業
株式会社
環境保全サービス
〒672-8035
兵庫県姫路市飾磨区中島
字宝来3067-17

エコレンガ販売
株式会社共生
〒672-8035
兵庫県姫路市飾磨区
中島字宝来3059-23

中間処分場
有限会社エコ・マテリアル
〒672-8079
兵庫県姫路市飾磨区今在家1113-5

事業紹介

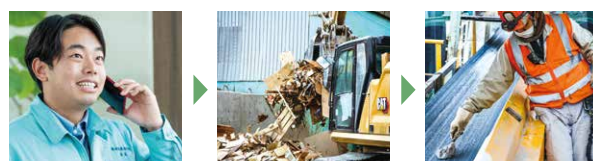
現場における廃棄物から リサイクル工場へ



解体事業

解体工事から処分までを一貫して行います！

当社の解体工事は、『ワンストップ』でご提案しております。お客様との打ち合わせ～施工管理、廃棄物の処分まで一貫したスムーズな対応を実現しています。



アスベスト処理にも対応いたします！

アスベスト(石綿)は、人が吸入すると人体に悪影響を及ぼす可能性のある素材です。関連法令も数多く制定されているため、定期的な法改正に合わせた対応・処理が必要な廃棄物です。当社ではそのような廃棄物にも対応してきた実績(※図1参照)があり、お客様のご要望に応えられるシステムを備えています。

姫路環境開発の『気配り』

お客様からの要望や解体条件は多岐にわたります。スムーズな作業を実現するため、担当者は何度も現場に足を運び、お客様のご要望を細かく聞き取ってサポートする体制をとります。こういった対応が「家屋は解体しても、排水管は残したい」「狭い道路で大きな重機が入れない」などの要望・課題を引き出すことに繋がります。どのような条件下でも、当社は『気配り』を欠かすことなく、安心・安全な適正処理をモットーに対応いたします。



※図1

2021年

アスベスト処理実績
5,000m²

2022年

アスベスト処理実績
6,000m²

廃棄物収集運搬処理事業

最短翌日に配車いたします

当社は、2022年12月時点で収集運搬車両を56台保有しているので、最短で翌日には配車が可能です。さらに、より多くのお客様のご要望にお応えできるよう、DX化を進めています。また当社では、運転手同士が連携を取っておりますので、車両の走行ルートなども効率的に行え、運転時間短縮や燃費改善、運転手の安全走行にもつながっています。

「断らない」がモットー

当社は、これまで多くのお客様に支えられ、成長をまいりました。創業以来、お客様のお困りごとに耳を傾け、当社で解決できそうにないような事でも問題解決へと導くご提案を行ってきました。これからもより一層、お客様の問題解決のお手伝いに努めます。

収集運搬車両

車両数56台 (2022年12月時点)

6新車
台納車



<ユニック車>

・2tユニック車 2台
・3tユニック車 5台
・4tユニック車 7台
・6tユニック車 7台

<コンテナ車>

・4tコンテナ車 11台
・10tコンテナ車 5台

<ツカミ車>

・6tツカミ車 1台
・10tツカミ車 1台

<ダンプ車>

・8tダンプ車 3台
・3tダンプ車 4台
・10t土砂ダンプ車 9台

<ダンパー車>

・4tダンパー車 1台

収集運搬容器

舟型バツカン 奥行 :2,000mm
幅 :1,500mm
高さ :1,100mm
重さ :380kg

大型コンテナ 奥行 :5,900mm
幅 :2,300mm
高さ :1,800mm
重さ :3,000kg

中型コンテナ 奥行 :3,600mm
幅 :1,900mm
高さ :1,000mm
重さ :1,000kg

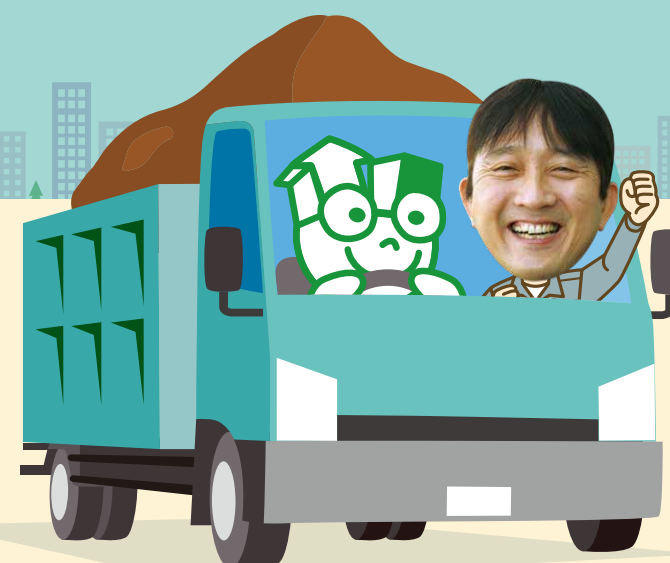
分別カート 奥行 :1,130mm
幅 :1,130mm
高さ :1,100mm
重さ :250kg

搬出専用車両

23tセミトレーラー 1台

17tフルトレーラー 1台

10t深ダンプ 1台



2022年

受入量
170,133.1 t/年
(姫路城約29.8城分)

リサイクル事業

産業廃棄物は、持続可能な社会を構築する「資源」です

各品目の受入量

廃プラスチック

硬質・軟質
発泡スチロール

2,480.3t

ガラス陶磁器くず

保温材、瓦、レンガ、ガラス
蛍光灯、石膏ボード

33,607.4t

紙くず

ダンボール、
クラフト紙

908.5t

金属くず

鉄くず、アルミくず、
ステンレスくず

2,585.0t

がれき

コンクリート、
アスファルトがら

66,068.3t

建設汚泥

3,186.2t

ゴムくず

3.8t

木くず

ベニヤ板、
木製パレット

12,594.3t

繊維くず

量など

160.2t



2021年

リサイクル率
70%
(2021年)

2022年

リサイクル率
71.04%
(12月現在)

2025年

リサイクル率
**目標
75%**



その他、再生原料・製鋼原料など



エコレンガ製造業

環境にやさしい、 3つの「無」を持つ マテリアルリサイクル製品

エコレンガの製造は、当社唯一の製品部門であり、マテリアルリサイクルにおいて、重要な事業の一つです。

当社製造の「アーザンブリックス スクラッチシリーズ」は、エコマーク商品の認定を受けており、廃棄物や副産物を前処理なしで原料とすることに加え、「無焼成・無廃棄・無排水」の3つの「無」で製造するため、省エネ・省コストにつながっています。

So Good!



再資源化比率 **74%以上**

無焼成

無廃棄

無排水

原料 廃棄物・副産物

▶ 砕石砕土・溶融スラグ・グラスウール・瓦くず

製法 無焼成固化技術（特許製法）

▶ 焼かずに高密度化し、自然乾燥で固化

化石燃料を使用しないため、CO₂の発生を抑え、地球温暖化防止に寄与するエコロジーでエコノミーな製品です。

〈エコレンガ製造工程簡易図〉

Step01

セメント
原土（廃棄物）
顔料

↓
混練機

混ぜる

Step02



真空押出機

成形する

Step03



自動
ラック倉庫

乾燥する

その他
リサイクル
製品



RPF



ペレット



木材チップ



路盤材

93,350.4t



安全衛生活動



安全衛生意識の高揚に努めています。

● 社内あいさつは「ご安全に」

当社は、労働災害を防止するため、常日ごろから安全への意識が保てるよう社内でのあいさつを「お疲れ様」から「ご安全に」へと変更しました。その効果もあり、今年も無災害を継続することができました。しかしながら無災害継続にゴールはありません。私たちは、永久に無災害を継続できるよう全力で安全衛生活動に取り組めます。



BCP



災害の増加、被害の甚大化など会社を取り巻くリスクは顕在化しています。

姫路環境開発は、そのようなリスクに備え、「資産保護」「業務継続」「災害備蓄」「情報収集」の仕組みをBCPマニュアルにて策定しております。

2023年 年間目標

- ・災害対策本部実動訓練の実施 ▶ 月一回の実施
- ・総合防災訓練の実施 ▶ 年二回の実施
- ・組織体制の見直し ▶ 年一回の実施
- ・BCPマニュアルの更新と開示 ▶ 年一回の実施
体制や機能の管理徹底、災害対応および復旧レベル向上

株式会社姫路環境開発 安全衛生方針

安全衛生活動は、企業経営の基盤であり、我が社で働く人及び地域社会の安全・健康に及ぼす影響を最小限となるよう企業活動の中で安全衛生管理を徹底し、自負できる職場を目指します。

- 1 安全衛生関係法令及び社内基準を遵守し、より一層の安全衛生管理に努めます。
- 2 職場の危険有害要因の明確化と対策の優先度を定めるリスクアセスメントを実施し、“災害ゼロ”の安全で快適な職場づくりを推進します。
- 3 過重労働及びメンタルヘルスによる健康障害を防止するため、衛生管理体制の充実を図り、社員の健康確保対策を推進します。
- 4 全社員とのコミュニケーションを図り、全員参加の安全衛生活動を実行していきます。
- 5 社員教育を通じて、安全衛生意識の高揚に努めます。
- 6 安全衛生活動の実行に当たっては、適切な経営資源を投入し、効果的な改善を継続的に実施します。

平成29年4月1日
代表取締役 梅崎晃平



● 2022年実績

昨年のデータとの比較検証

- ・BCPマニュアルを用いた事業継続対応訓練の実施
▶ 一回実施、目標達成
- ・災害対策本部実動訓練の実施 ▶ 計七回実施、目標達成

訓練の定例化により、回数を大幅に向上できた。今後の目標は、前年に引き続き、全社合同訓練の実現に向けた意識向上、練度向上。

- ・安否確認訓練の実施 ▶ 計二回実施、目標未達成
- ・防災無線を使用した実動訓練の実施
▶ 計七回実施、目標達成
「災害対策本部実動訓練」と同時実施
- ・BCP総合防災訓練の実施 ▶ 計二回実施、目標達成



DX推進



時代の変化にも俊敏に対応できるDXを推進します。

DXの推進は業界問わず、サービス向上に不可欠な存在と捉えています。向上は、すなわち「既存モデルの変革」「価値の創出」を意味すると考えます。当社は、この変化に対応するために、従来のやり方からの大幅な変更を進めています。さらに、それがステークホルダーの皆さまに受け入れられるものとなるよう、顧客の要求や希望と弊社のサービス提供とのギャップを最小限にする必要があります。これは、速さと精度が問われる課題だといえます。当社は課題解決に向けた、社内DX化・IoT化を推進していきます。

2023年 年間目標

- ・デジタル技術講習会の実施 ▶ 年二回以上の実施
▶ 従業員のITリテラシー向上
- ・OCR・RPA導入による作業自動化
▶ マニフェスト処理、入力作業、確認作業の自動化および業務効率化
- ▶ データ連携を活用した
 - ① 共通情報のシームレスな共有
 - ② 情報探索の時間削減、効率化
- ・受付システムのIoT化 ▶ 問い合わせ業務の50%を自動化
 - ① チャットボットシステムの導入
 - ② HP受付のUI向上
 - ③ 基幹システムとのデータ連携



● 2022年の実施内容

新基幹システムの構築に向けた取り組み

- ・kintoneをプラットフォームとした産業廃棄物処理基幹システムの構築に着手
- ・クラウド化・データハブ化・IoT化の実現
共通情報の横展開による判断の迅速化、オペレーション効率化

現場業務フローのIoT化 タブレット配布

- ・全ドライバー54名にタブレットを配布



DX推進体制の確立

- ・各部署から一人担当者を選任し、推進体制を確立
SEの人材獲得、育成を拡大し、DXノウハウの内製化に取り組んでいきます。

社内デジタル設備の刷新

- ・社内サーバーのクラウド化災害リスクを想定して、クラウド化、自動バックアップ化
- ・データベースのクラウド化クラウドストレージサービス「box」を社内全面的に導入
- ・全デスクトップPCのSSD化クラウド化に合わせて高速処理への対応を重視

● kintone

現在、kintoneをプラットフォームとして新たに産業廃棄物処理の基幹システムを構築し、一貫通貫なシステムを目指しています。基幹システムの各アプリケーションの出来上がりに合わせて、縦軸の連携を深めて、システムの一貫性を保証できる仕組みづくりを目指します。

デジタルアドバイザー 大石様より

多様な働き方に対応するため社内システムのDX化を推進しております。これまで社内でのみ利用していたシステムのkintoneへ移行し、どこからでもアクセスできるように整備を進めております。また、ドライバーも自身でシステムへアクセスし作業状況のリアルタイムの見える化のためにタブレットの導入も進めております。今後は使い易さや利便性の向上を図るとともに全員のITリテラシーの向上が必須だと思います。



株式会社姫路環境開発
副社長
大石 哲也 氏



福利厚生



社員が健康で 働きやすい環境づくり に取り組んでいます



●健康経営優良法人認定に向けた取り組み

健康経営とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、健康の保持・増進につながる取り組みを実践することです。2022年5月には全国経営保険協会様より「わが社の健康宣言」登録事業所として認定を受けました。健康経営優良法人認定取得に向けて、中小規模法人部門に申請しております。働くために一番大事なことは健康です。そのため、働きやすい職場を目指して、今後も健康づくりを推進してまいります。

●3大疾病サポート保険へ加入

当社は、企業として健康づくりを進める一つの手段として、第一生命保険様の『3大疾病サポート保険』に加入いたしました。現代は、高齢化が進み3大疾病に罹患するリスクが高まっております。そのリスクに備えることが従業員の安心に繋がると考え、加入いたしました。日本人の死因上位3位を占める病気の保険への加入は、従業員から喜びの声も多く上がっております。今後も、従業員が健康で生き生きと長く働ける環境づくりを進めてまいります。



産休・育休制度

当社は、社員ひとりひとりのライフステージに合わせて産休・育休制度を整えております。

●産前産後休業

- 産前 出産予定日を含む6週間
- 産後 出産から8週間
- 対象 出産する従業員

●育児休業

- 期間 子供の出産後、1歳になる誕生日の前日までの間で、希望する期間
- 対象 1歳未満の子を育てる従業員

●他制度

- ▶出生時育児休業
- ▶母性健康管理のための休暇
- ▶育児短時間勤務
- ▶子の看護休暇 など



社員紹介

印象に残る出来事を 伺いました！

お客様から産業廃棄物以外のことで相談を受けたことです。姫路環境開発は「断らない」をモットーにしていることもあり、「なんとか協力したい」と思いました。協力して喜んでいただけたときは嬉しかったです。



7年目 営業部営業課
大久保 裕介

久しぶりに会うお客様に覚えていただいていたことです。姫路環境開発のドライバーとして、お客様と良好な関係を築けていると感じました。今後も、怪我に注意し、笑顔で努めます。



19年目 収運部運行管理課
常陰 晃一

印象に残る福利厚生を 伺いました！

夏に行われる家族レクリエーション（BBQ）です。家族のことも気を配っていただくことを嬉しく思います。他のご家族とも交流できる楽しいイベントで、子どももまた行きたいと言っていました。



13年目 資源リサイクルセンター
中島 健吉

クリスマスケーキをプレゼントしていただきましたことです。他の企業にはあまり見られない取り組みなので、配布していただき嬉しかったです。



4年目 総務部総務課
福田 結衣

社内ツール

●気づきの発信機会『一言コメント』

一言コメントは、2013年から安全第一を目的に、ヒヤリハットや改善点・良い点の書き込みから始まりました。2020年からは『LINE WORKS』の掲示板を活用しており、気づきや感じたこと、一日の振り返りなどを発信する場になっています。現在は、この一言コメントが起点となり、様々な視点から意見が出ることで社員同士のコミュニケーションの活性化につながっています。



Internal Tools!



実際にあった 社員のコメント

11月、トイレ横の手洗い場に給湯器を設置していただきました。冬場も温水が出るので、手洗いや掃除の際に非常に助かりました。会社の物も自分の物と同じように大切に使用させていただきます。



社員交流



役職や部署の垣根を超えて絆を深める社員交流の場

同好会

現在、「HKゴルフ同好会」と「HKダンス同好会」の2つの同好会が活動中です。それぞれ、様々な部署、幅広い年齢でメンバーが構成されています。同好会活動は、従業員同士の親睦を深めるとともに健康増進を図り、会社の発展に寄与することを目的としています。

ダンス

HKダンス同好会は、月2回、ダンス教室にてレッスンを受けています。現在の会員は14名で若手社員も積極的に参加しており、その内のほとんどが初心者です。社内イベントでは練習風景の動画が上映され、笑顔で楽しく活動する姿が紹介されました。



It's fun!



ゴルフ

HKゴルフ同好会は、24名で構成されています。チームでコースを回る「HK杯」を年4回開催しています。合言葉に「素振りは1回ホイサッサ! ライン読むなら空気読め!!」を掲げ、和気あいあいと交流しています。



Good Shot!



社員教育



社員一人ひとりへのビジネススキル向上をサポートします

人材育成研修

姫路環境開発は、「人材育成が企業を育て、社員が満足して仕事できる」を経営理念の1つとしています。D.M.P.研修は創業当時から実施しており、2022年はマナー研修も実施しました。外部講師にご教授いただくことで、客観的な視点を得ることができる機会となっております。



Improving Skills!



D.M.P.研修(人材育成研修)担当 日高様より

貴社が創業以来、持続的成長・発展した源泉は、人を大切にしたい継続的・計画的・啓発的な社員教育にあります。その内容は、ビジネススキルや法的知識の教育に加えた、経営理念・社訓を具現化する為の「人としてのあり方やものの見方・考え方、意識などの人間力」を強化する教育です。激変する環境の中、この教育を日々実践した結果、会社の体質が強化され、よい社風・企業文化が醸成されました。この無形(知的)資産の蓄積が発展の礎です。これを継続する限り永続発展すると確信しています。



株式会社ディー・エム・ピー
代表取締役
日高 安則氏

マナー研修担当 島津様より

『忠恕(ちゅうじょ)の精神』を人材育成に携わる志として大切にしています。会社はチームです。どの部所の人もなくしては困ります。忠恕とは「自分も相手も大切にできる心」、しかし心は見えません。言葉・表情・態度に表し伝えることを実践し、歩み寄りから素晴らしいチームが形成されます。働き甲斐のある会社を「誰か」ではなく「私(自分)」がつくりましょう。全ての人が必要です。皆がいるから「株式会社姫路環境開発」があるのです。共に働く仲間を敬い、感謝を忘れず、そして助け合う、チーム力No.1企業へ!!



Brush Up Production ANys
代表
島津 ゆう子氏

資格取得支援について

2022年の資格取得支援対象者 計17名

- ・大型自動車第一種免許 (1名)
- ・危険物取扱者乙4類 (1名)
- ・特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能 (3名)
- ・建築物石綿含有建材調査者 (2名)
- ・フォークリフト運転技能 (5名)
- ・小型移動式クレーン運転技能 (3名)
- ・車両系建設機械運転技能 (2名)

営業マーケティングミーティング

入社後2年未満の社員が参加するミーティングです。株式会社LAVOROの神谷様をファシリテーターとして、先輩・後輩の垣根を超えて意見を出し合いながら、チーム全員でマーケティングの基礎から応用までを学んでいます。自分を知り、人を知り、会社を知り、社会を知ることができる場です。

マーケティング支援担当 神谷様より

環境の変化に強い会社を目指す。マーケティングを通じて自社の強みや社会的役割を社員の皆様が理解することで必ず会社はいい方向へと変化します。本質的な課題や将来の目標に対して真摯に向き合い変化の勇氣と挑戦し続ける行動こそが周囲の仲間が変わり会社が変わり、やがて社会にいい影響をもたらせる会社へと変化します。私はその変化を信じて日々、姫路環境開発のマーケティング開発を支援しております。



株式会社LAVORO
代表取締役
神谷 昌志氏

CSR活動

ふれあいを通じた 地域社会への貢献活動



花とレンガのエコフェスタ

このイベントは、環境にやさしいエコレンガの普及と地域の皆様への感謝の意を込めて、花やレンガの即売を行っています。
10月28日～30日の3日間、3年ぶりの開催となり過去最多の2,800人以上の方にご来場いただきました。
会場は、開始前から待機されるお客様もいらっしゃるほどの賑わいを見せ、繰り返し来てくださるお客様も数多くいらっしゃいます。

このようにして地域の方々に愛される秘訣は、社員や関係者の『笑顔』と『寄り添う気持ち』です。
積込のお手伝いや接客の際の対応は、当社としても誇れる強みとなっております。
今後も、エコフェスタは変化と成長を続けてまいります。
どうぞご期待くださいませ。

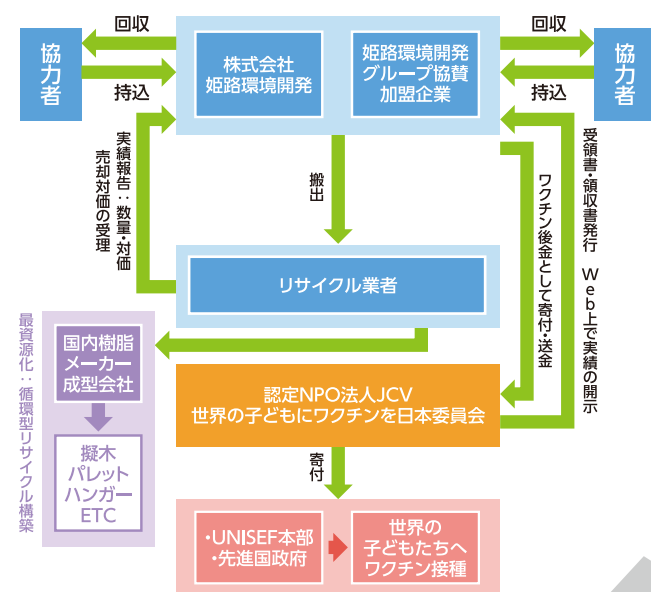


ボトルキャップ回収活動



団体や企業からのボトルキャップ回収を通じて、世界の子どものワクチン接種を支援する活動です。
2009年から始まった活動で、2022年は新たに18団体以上の方々と繋がりを持つことができました。
これまでに計約850団体の皆様にご協力いただいております。
中には毎月ご協力いただけるお客様も多く、継続的な支援が成り立っております。

2022年
ワクチン
8,140人分
寄付



環境学習

当社は、地域に根差した企業を目指し、地域との交流に力を入れております。
2022年は、新たに2校と関わりを持ち、地域とのつながりの輪が広がっていることを実感しています。
当社が当社の役割や地域活動を伝えることで、「ひとりひとりの未来」と「地域の未来」に役立つことを願っています。



● 姫路商業高等学校様とのフィールドスタディ

11月、企業のサプライチェーンや課題解決の事例を学ぶ授業の一環として、1年生6人がお越しくださいました。
当日は、姫路環境開発と社会のつながりや、エコレンガ制作を通してCO₂削減に取り組む課題解決事例をご紹介します。



● 姫路市立琴丘高等学校様との探究授業

学生主導で行われる、姫路市立琴丘高等学校様の探究活動にお招きいただき、「海洋プラスチックごみ問題」に興味を持つ学生と交流しました。
主に「海のごみ調査隊」で回収した海洋プラスチックごみについて紹介し、質疑応答では「海底と陸のごみの違い」や、「ごみの発生量の推移」等についてお答えしました。



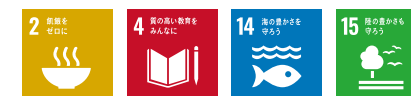
● 賢明女子学院様作成のごみのオブジェが優秀賞

Go Blue Projectごみアートコンテスト2022にて、賢明女子学院の学生が作成したオブジェが優秀賞に選ばれました。作品には、2020～2021年度にかけて行った共同企画「海のごみ調査隊」で収集したごみが用いられており、見事な魚のオブジェに生まれ変わりました。



● ひめかんエコファームでおいも堀り

地域の子供たちを対象に、畑での体験を通して、自然への関心を育む収穫体験を行っています。今年も飾磨保育所様と飾磨西保育所様にご参加いただきました。
保護者・先生も合わせて、合計161人が参加し、社員が育てたサツマイモの収穫を体験していただきました。
毎年子供たちが楽しむ姿を見ることができ、当社の地域交流活動の中でもひととき盛り上がりをしています。



フードドライブ活動

フードバンク
はりま



未使用の食品・日用品を持ち寄り、支援を必要とする人へ食品を届ける活動です。姫路環境開発は、NPO法人フードバンクはりま様を通じて2019年より活動を支援しています。理事長の辻本様より日本の貧困家庭の現状を伺い、当社の地域貢献への想いと重なり、活動支援を開始しました。2022年もフードドライブ活動を毎月実施し、12月回収分で31回目を数えました。姫路環境開発は、これからも支援を必要とする人へ、継続して活動してまいります。

2022年
収集実績
181.2kg
(前年比約116%)



NPO法人フードバンクはりま 辻本様より

2022年を振り返りますとコロナの影響が色濃く残り、仕事を失った方や収入が減ったという方との出会いが多かった一年でした。また、様々な物が値上がりとなり、ぎりぎりで生活していたがたちまち食べられなくなるという家庭も続出しました。年末には、ガス・電気・水道が止まっているという、これが先進国と言われる日本なのかと思う家庭との出会いも多かったです。一方で、ご支援していただく方が増え多くの方の支援につながりました。今後も、私たちの活動を知らない水面下の困窮世帯を支援できるように模索しながら進んでまいります。

子ども食堂へ寄付

今年も、ひめかんエコファームで収穫したサツマイモを支援団体の皆様へお届けしました。昨年に続いて『あこう子ども食堂(赤穂)』様、新たに『コミュニティ食堂きらら(姫路)』様へ寄付いたしました。寄付した食材は、コミュニティ食堂でおいもご飯や甘煮として、約70人に提供され、喜んでいただけたそうです。今後も食料支援を通じた交流を継続し、支援の輪を広げる一助に繋がるよう取り組んでまいります。



広域清掃

地域への貢献と感謝の気持ちを込めて、環境美化活動として会社周辺の清掃活動を行っております。年間を通して毎月開催し、複数人でグループを構成し組織的に清掃を行うことで、他部署の社員との交流の機会にもつながっています。姫路環境開発は、これからも社員、お客様、地域との「絆」と「繋がり」を深めていくことも目標としていきます。この目標に向けて、地域貢献を通して持続可能な街づくりに努めてまいります。



2022年
環境美化活動
合計
180回
(12月時点)

スポーツ団体と地域応援活動

姫路環境開発は、ホームタウンを姫路に置くバレーボールチーム『ヴィクトリーナ姫路』をエリアスポンサーとして支え、姫路の活性化に努めてまいります。



©2016 Himelji Victorina CO., LTD.



スマイルカード



2022年
受賞者
87人

『笑顔が素敵な人』や『周りを笑顔にした人』に贈られるカードです。2022年は合計87人が受賞いたしました。この社内活動は、今や当社の文化と言えます。今後も笑顔の輪を広げ続け、『笑顔溢れるいい会社』を目指します。



受賞者へのコメント

収運部 Uさんへ

顔を見かけたら明るく声をかけ、会話して嬉しかったことを一言コメントに記入し、皆のモチベーションをあげてくれています。ありがとうございます！

受賞者へのコメント

総務部 Kさんへ

いつでも礼儀正しく立ち止まり、相手の顔を見て挨拶する分贈礼をきちんと実行しています。入社初日から今日でも変わらず、当たり前のようにつながっていることは、他の社員の見本となっています！



支援・受賞実績

● 姫路市 環境美事業 寄附

姫路市の環境美事業へ寄附をしたことで、姫路環境開発は、姫路市から「感謝状」と「ふるさと姫路賞」を、国から「紺綬褒章(褒状)」をいただきました。今後も地域・環境に対して真摯に向き合い、より一層精進してまいります。



● クラウドファンディング プロジェクト支援

姫路環境開発は、「亀岡市の豊かな環境資源と伝統産業を守りたい! 保津川下り応援プロジェクト」支援による感謝状をいただきました。



● STOP感染症大賞 ~最優秀賞~

一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会主催の第8回「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2022」にて、新型コロナウイルス感染症対策の取り組みで、姫路環境開発が最優秀賞を受賞いたしました。

